

コミュニケーションを高める ワークプレイスデザイン お客様事例

RICOH
imagine. change.

イキイキ・ワクワク、新しい価値を共創する新オフィスが完成。
働く場所を自由に選べるワークスタイルと明るく開放的な空間が、社員同士の交流を促進。
コミュニケーションが高まり業務効率も向上しています。

明電興産株式会社様

■ご導入サービス・商品：
リコーワークプレイスデザイン

RICOH Interactive Whiteboard D6520台 3台 D5530 1台 D3210 3台
リコーデジタルサイネージクラウドサービスおよびRICOH Digital Signage 7台

Company Profile

■主な事業内容：明電舎および明電グループ向けの不動産事業、オフィスサービス事業のほか、
ツアーリスト事業、介護機器事業など幅広い事業・サービスを展開

■URL：<https://www.meidensha.co.jp/ksn/index.html>



明電興産株式会社
代表取締役 取締役社長 大橋 延年 様

社員が活発に交流し、イキイキ・ワクワクできる
空間を目指し、職場の在り方から見直しました。

明電興産様は新社屋竣工を機に職場環境を刷新されました

明電グループ向けのサービス事業を担う企業として、創立50周年に竣工する新社屋は、明電グループ各社の模範となるような空間にしたいと考えていました。どんなオフィスだったら、社員がイキイキ・ワクワクと活躍できるのか。黙々と仕事をする従来の職場のイメージを払拭するような、これからのオフィスの在り方を求めて、リコーさんに相談しました。

リコーさんに相談して非常に良かったのは、ユニークなワークスペースや創造性を刺激する什器の配置といった新鮮なアイデアの数々を、資料だけではなく、リコーさんのライブオフィスViCreAで体感させてもらったことです。

リコーさん自身のワークスタイル変革の取り組みとその効果を実際に見たことで、目指すオフィス像を具体的に描けるようになりました。

リニューアル前の課題とリニューアル後の効果

明るく開放感のあるオフィスにしたい。
組織の枠を超えたコミュニケーションを
活性化したい。

オフィスサービス事業を担う会社として、
働き方改革（業務効率化、創造性の
向上）を実現したい。

ペーパーレスの徹底とレイアウトの工夫により、
明るく開放的で快適な空間になった。

フリーアドレスを導入し、部門を超えた交流が
活発になり、業務効率も向上している。

自社の働き方改革をグループ会社に自信を
持って紹介できる「魅せるオフィス」が完成した。



業務や気分に合わせて働く場所を選べる ABWの良さをフル活用し、働きやすさも 生産性も想像以上に向上しています。



明電興産株式会社
企画管理本部 主任 井上 峻介 様

本社内はもちろん、拠点間のコミュニケーションも活性化

新オフィスでは、働く場所を自由に選べるワークスタイル『ABW（Activity Based Working）』を採用しています。オフィス中央にコミュニケーションエリアを設け、その周囲に様々なタイプのワークスペースを配置。窓の外を眺めながら仕事をしたり、ソファ席でアイデアを練ったり、業務や気分に合わせて働く場所を変えることが、これほど業務効率を向上させるとは思っていませんでした。想像以上の効果を実感しています。

開放感も新オフィスのポイントです。実は、新オフィスの床面積は旧オフィスの約半分なのですが、ペーパーレスの徹底に加え、キャビネットの高さを低く揃えるといったレイアウトの工夫により、旧オフィス以上の開放感を実現。明るく心地よい空間となったことで社員の心もオープンになり、部門を超えた交流が活発になっています。

さらに、他拠点との交流も活性化させていくため、リコー インタラクティブ ホワイトボード（IWB）とデジタルサイネージを、複数の拠点に導入しました。IWBは、離れた拠点とも紙に手書きする感覚で情報共有できるのが良いですね。アイデアをブラッシュアップして一つにまとめていく作業において特に効果を感じます。デジタルサイネージは、業務の合間に手軽に見られるのが魅力です。多様な情報を発信し、全社的なコミュニケーション活性化に繋がっていきたくて考えています。今後は、こうした私たちの取り組みを、グループ会社にも積極的に紹介し、グループ全体の働き方改革、意識改革を加速させていきたいと思っています。



集中ブース



コミュニケーションエリア



ビッグテーブル

3大選定ポイント

- ・従来のオフィスのイメージを払拭する、新鮮なアイデアが盛り込まれた提案内容だった。
- ・リコーのライブオフィスViCreAを見学し、完成後のオフィス・効果を具体的にイメージすることができた。
- ・最適な什器やツールの選定から、設計、施工、運用サポートまでワンストップで対応可能だった。

事例をより詳しく知りたい方はこちら →

<https://www.ricoh.co.jp/case/2207-meidensha-ksn>

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社
東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル 〒105-8503

リコー製品に関するお問い合わせは下記のダイヤルで承っております。

リコーテクニカルコールセンター **0120-892-111**

- 受付時間：平日（月～金）9時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- ※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。
- ※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告無く変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各種お問い合わせ窓口：<http://www.ricoh.co.jp/contact/>
- リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。

● お問い合わせ・ご用命は…